

連携室だより

鹿児島医セン

鹿児島医療センター（循環器・脳卒中・がん専門施設）

2015.5 vol.109

心臓・血管病市民公開講座



今回も例年と同様、多くの市民の方々と循環器疾患についての知識の共有を目指して、平成27年4月5日（日）に健康フェスタと講演の二部構成による『第5回 心臓・血管病市民公開講座』を開催しました。

今回は、これまで（第1回～第4回）まだ扱っていなかった心不全をテーマに「心臓の若さを保つ：ますます増えてくる心不全を知ろう」というタイトルにしました。うっ血性心不全は65歳以上の10%超で認められ、成人における入院の主な原因となっています。心不全による入院は、死亡率だけでなく再入院率も高いのが現状です。高齢化により、肺炎や炎症を合併した心不全患者が増加しており、今後も他の疾患を合併した心不全患者の増加が考えられますので、市民の方々にそのことを理解して頂くために開催しました。

まず、当院外来にて健康フェスタを午前9時30分開場し、10時より受付を開始しました。医師による健康相談、薬剤師による内服相談、栄養相談、健康チェック（身長、体重、血圧測定）、ABI測定、あなたにもできる心肺蘇生（AED）、画像で見る心血管（心エコー、CT、MRI法）、展示コーナー等にわかれて12時まで開催しました。その他、病院紹介のビデオを2か所で上映しました。

ABI測定は、人数制限のため受けられなかった方もおられるほど人気があり、「次回はABI測定を受けた」とのご希望や他のコーナーでも、「AEDを初めて体験して良かった」、「初めて参加したがまた参加したい」等のご意見・感想を頂きました。

午後からは場を移し、かごしま県民交流センターにて講演会を、当院院長の花田修一による挨拶により開演しました。

講演①「心不全について」（中島 均 循環器内科部長）

講演②「睡眠と心臓」（田中秀樹 循環器内科医長）

講演③「心不全の食事について」（淵脇美保子 栄養管理室長）

講演④「運動やリハビリはどうするの？」（鶴川俊洋 リハビリテーション科医長）

講演⑤「薬の管理は？」（副薬剤部長）

パネルディスカッションでは、森山由紀則統括診療部長と私（藺田正浩）が座長を務め、市民の方から頂いたご質問に、各講師がお答えしました。

最後は、今村純一副院長により挨拶がなされ、シルバー川柳で会場の心を引き付けて、和やかな笑いのもと閉会しました。

今回は、4月第一週の日曜日開催ということもあり、異動により多忙なスタッフもおられ大変ご迷惑をおかけしましたが、当院医療スタッフの努力により手作りのフェスタと有意義な講演ができました。

アンケートの中で、もっと広く宣伝してほしいとのご意見もありましたので参考にさせて頂き、今後も参加者の満足度の高い市民公開講座を目指していきたいと考えておりますのでご協力よろしくお願いいたします。

（文責：メディカルサポートセンター長 藺田 正浩）



メディカルサポートセンター

平成24年4月より、地域医療連携室、がん相談支援センター、入院支援を機能としたメディカルサポートセンター（MSC）が開設し3年が経過しました。MSCでは、患者、家族が安心して治療やケアを受けられるためのサポートを、医師・看護師・薬剤師・メディカルソーシャルワーカー（MSW）など、チームで関われるように連携強化を図り、患者に必要な支援が行える体制を強化しています（図1参照）。窓口は、がん相談支援・入院支援・退院支援・医療福祉相談・ご意見提案などがあり、年々件数も増加傾向にあります（図2参照）。プライバシーが保てる相談室3カ所も利用し、認定看護師やMSW、臨床心理士がそれぞれ対応しています。入院支援では、患者・家族に対して、入院予約の時点から看護師、薬剤師、MSW等の各職種が連携して、入院までの心理的、身体的、社会的準備など、早期ケアができる体制を整え、各病棟の特殊性に合ったケアを実施しています。また、退院支援では、退院・転院の調整件数も年々増加してきています（表1参照）。



MSCでは、患者様・ご家族の相談窓口として引き続き多職種で連携し対応して参りますので、今後ともよろしくお願いいたします。

（文責：退院調整看護師長 田上 さとみ）

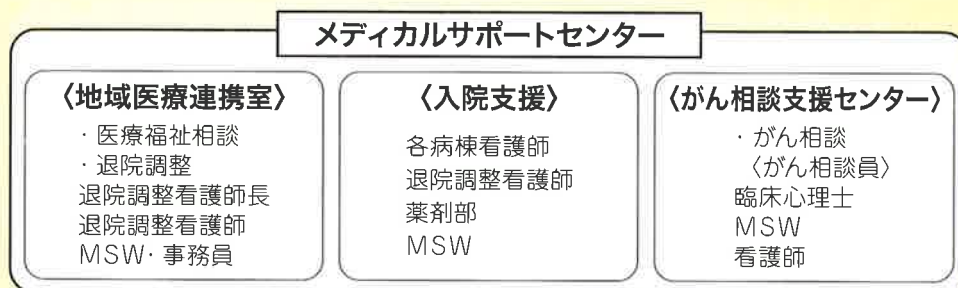


図1 メディカルサポートセンターの体制

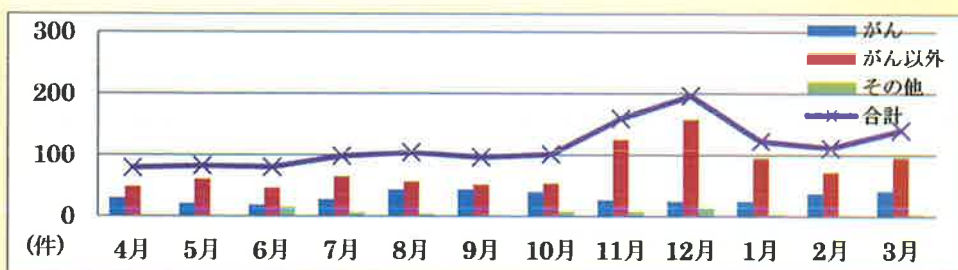


図2 平成26年度 メディカルサポートセンター窓口対応件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
H24年度	59	50	59	35	49	49	53	53	61	52	65	64	649	54.1
H25年度	55	77	75	61	59	49	62	74	78	58	74	62	784	65.3
H26年度	70	71	66	69	71	69	82	77	89	82	94	100	940	74.6

表1 平成26年度 月別 退院調整件数及び割合

鹿児島医療センター附属 鹿児島看護学校入学式を終えて

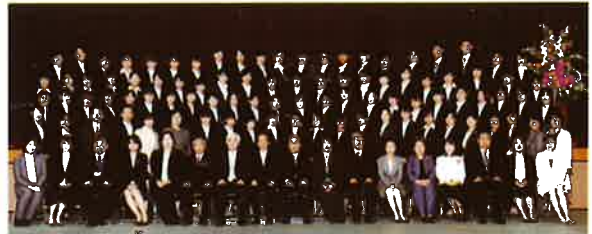
4月8日、私たち79名はこれからの学生生活へ期待と不安、そして看護職者になるという夢を胸に入式を迎えました。多くの方々のご臨席を賜り、盛大な式を挙げていただき、大変うれしく感じました。

私は、先輩からの歓迎の言葉で、2つのことが心に残りました。1つは、「生徒」から「学生」となったことです。呼び方の違いだけでなく、これからは自ら探究する意識をもっていかなければならないことがわかりました。もう1つは「勉強」ではなく「学習」をしていくことです。看護職者になるという意識をもって、学んだことを身につけて実践に生かすことができる学習をしていかなければなりません。私は、これから自主的に行動でき、学んだ知識や技術を生かしていけるように日々の学習に取り組んでいきたいと思ひます。

また、入学と同時に寮生活も始まりました。初めて親元を離れての生活、そして共同生活のため、慣れないことばかりで戸惑うことが多くあります。しかし、先輩方や同級生にわからないことは聞きつつ、早く寮生活に慣れていきたいと思ひます。その中で他人に迷惑をかけることがないように行動し、礼儀正しく、毎日が楽しく充実した生活を送れるようにしていきたいです。

今、学生生活が始まり、数日が過ぎました。オリエンテーションを通して、学校の規則や学習内容など、さまざまなことを教えて頂きました。そして、私は、3つの目標を考えました。1つ目は、規則正しい生活を送り、3年間健康に過ごすことです。2つ目は、予習、復習に取り組み学んだことを身につけることです。3つ目は、仲間と切磋琢磨していくことです。まずは1つ目の目標ができないことには何も始まりません。常に念頭に置きながら生活していきたいと思ひます。夢の実現に向けて日々精進していきたいです。

(文責：平成27年度入学生 久保 明日香)



新入生セミナーがありました

1年生は平成27年4月17日に「学生間の交流を深め、看護学生として学校生活を円滑に開始する機会とする」という目的のもと新入生セミナーを行いました。当日は学校を離れ鹿児島市立少年自然の家にて人間関係学の講師でもある上瀧純一先生においでいただきました。

入学して1週間は経過していましたが、話したことのないクラスメイトと様々なセッションを通して関係を築いていく機会になりました。

ブラインドウォークで施設の周りを歩く体験では相手を信頼すること、相手に信頼されるように対応することの大切さなどを感じていました。

グループで双六ゲームをしながら自分のこと話すというゲームでは、最初は大きな円が時間が進む中で小さな円になり自己開示できるようになっていました。

1日という短い時間の中で、入学後の緊張した状態からリラックスできたという感想や、講師の先生の話の間で、「3年間は楽しいこと、つらいこともあると思う。自分一人で悩みを抱えこまず、信頼できる友人と助け合いたい」「悩んでいるのは自分だけではないことが分かって心が軽くなった」など様々なことを感じていました。「日進月歩～日々努力し看護学生として成長したい」という1年生の目標が達成できるよう支援していきたいと思ひます。

(文責：看護学校教員 首藤 眞奈美)



新任紹介



糖尿病・内分泌内科
伊集院 太生

本年度4月から鹿児島医療センター糖尿病・内分泌内科医師として働かせていただくことになりました。当院は県内有数の心臓血管、脳血管疾患における診療体制が整っております。ご存知のように糖尿病はこれらの大血管合併症を引き起こすことで知られており、患者の糖尿病教育、血糖管理について少しでもお役にたてれば幸いです。また当科は県内でも数少ない内分泌内科の専門研修施設でもあり、貴重な症例を勉強させていただくつもりです。

まだまだ分からないことが多く、ご迷惑をおかけするかと思います。よろしくお願い致します。



消化器内科
小野 陽平

4月より消化器内科医師として勤務させて頂いております。以前3か月間レジデントとして勤務して以来、今回約6年ぶりの鹿児島医療センター勤務となりました。

以前と比較して建物自体は変わっておりませんが、電子カルテ導入、メディカルサポートセンター設置など、患者様へより良い医療を提供するためにソフト面、ハード面の充実が図られていると感じています。今後鹿児島医療センターの一員として皆様のお役に立てるよう、患者様に寄り添う医療をモットーに丁寧な診療を心掛けて参ります。よろしくお願い致します。



第一循環器内科・レジデント
上坊 翔太

4月から鹿児島医療センターで働かせていただくことになりました。鹿児島医療センターで働くのが初めてで、分からないことだらけの日々を過ごしております。こちらで働きはじめて2週間程過ぎましたが、周りの皆様の優しさにふれ、働きやすい環境であることに喜びを感じております。もともと、鹿児島出身でもあり少しでも鹿児島の医療に貢献できるよう頑張っていこうと考えております。至らない点も多々あるとは思いますが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願い致します。



小児科
永留 祐佳

本年4月より鹿児島医療センター小児科医として勤務させて頂くことになりました。小児科医としてまだまだわからないことも多く、鹿児島医療センターで多くのことを経験していきたいと思っています。また病棟や外来に一日でも早く慣れ、患者様やご家族が安心して、過ごせるように精進していきます。

ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、ご指導のほどよろしくお願い致します。



泌尿器科
米澤 智一

4月から泌尿器科医師として着任いたしました。3人体制の2番手です。2011年度も勤務させていただきましたので、職員の皆様、患者様も顔なじみが多く、リラックスしたスタートを切ることができました。

4月着任後、さっそく多くの患者様に声をかけていただき、嬉しく思うところです。

わが泌尿器科は、恒吉先生がどっしりと構えており、岡村先生が馬車馬のようにながつりと働いてくれています。そのため私はのんびりと！...ではなくて、しっかりと！診療にあたる決意です。

患者様の満足度が一番大切だと思っています。

よい評価がいただけるよう、丁寧に診療していきます。よろしくお願い致します。



麻酔科
内田 陽治

4月より麻酔科医師として鹿児島医療センターで勤務させて頂くことになりました。当院は様々な診療科があり症例数も多いため、非常に良い経験ができております。少しでも早くお役に立てるよう、日々精進していきたいと思っております。ご迷惑をおかけするかと思っておりますが、よろしくお願い致します。



泌尿器科・レジデント
岡村 俊介

初めまして、本年度4月から鹿児島医療センターに赴任することになりました。泌尿器科の岡村俊介と申します。泌尿器科2年目であり、初めての市中病院勤務になります。日々多くのことを学びながら、診療にあたっております。至らない点が多々あるとは思いますが、御指導、御鞭撻のほど何卒よろしくお願い致します。

追記：自転車に興味のある方は是非とも声をかけてください。

■お問い合わせ先

独立行政法人
国立病院機構

鹿児島医療センター (循環器・脳卒中・がん専門施設)

〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号

(代)TEL 099(223)1151 FAX 099(226)9246 <http://www.kagomc.jp>

【地域連携】 蘭田・谷口・田上・吉永・鷺頭・吉留・山口・櫻木・宮崎

【がん相談】 松崎・森・水元・木ノ脇・原田・杉本

フリーダイヤルFAX専用▶0120(334)476

※休日・時間外は当直者で対応します。

